

学部学生アンケート質問用紙

学部学生アンケート

2018年7月

名古屋大学医学部・保健学科長 寶珠山 稔

アンケートの趣旨

近年の科学技術の進歩とともに、保健・医療分野へのデータ科学の利用が進みつつあります。データ科学は電算機の普及とともに主に工学分野の分野として発展してきましたが、現在では分野を問わず、その技術が利用されるようになってきています。データ科学に関する教育は、医学やその他の教養科目と並んで基礎的教育のひとつとして大学でも積極的に取り入れる方向が示されています。

医学系研究科(保健学)では、これまでの高度専門職教育や研究に加えて、各専攻の領域においてデータ科学の知識と技術をもった人材の育成や、保健・医療領域におけるデータ科学を取り入れた研究の推進を目指して、大学院に新しい教育課程をつくらんと検討が進められています。

このアンケートは、今後大学院教育を受ける可能性のある学部学生の皆さんに、保健医療分野におけるデータ科学、大学院でのデータ科学教育等についての現在の意識を調査するものです。

※ここで言うデータ科学とは、大規模化したデータを収集して管理し、さらに統計学、数理科学に裏付けられた理論に基づいてコンピュータを用いて分析し、その結果から適切な判断を下す一連の手法を学ぶ学問です。すなわち、統計学、数理科学、情報学が融合した学問を意味します。

●調査結果は名古屋大学大学院医学系研究科および保健学科の将来の教育研究の検討のために用い、他の目的で利用することはありません

●別紙のマークシート用紙に記入・回答してください。

●マークシート用紙に名前や学生番号は記入しないでください。

●記入後、7月31日(火)までに、本館1階学務事務室前あるいは別館1階ロビーの回収ボックスに入れてください。ご協力をお願いいたします。

以下の質問について、あなたのお考えをお答え下さい。		マークシートのマーク番号				
		①	②	③	④	⑤
質問1: あなたの専攻をお答えください	質問1:	看護学	放射線技術科学	検査技術科学	理学療法学	作業療法学
質問2: 何年生ですか、あるいは現在履修している科目は主に何年生の科目ですか	質問2:	1年生	2年生	3年生	4年生	
質問3: 性別をお聞きます	質問3:	男性	女性	その他(無回答)		
質問4: これまで、大学の内外や領域を問わずデータ科学について具体的な勉強や学修体験の機会がありましたか	質問4:	よくあった	ある程度あった	分からない	ほとんどなかった	なかった
質問5: 保健医療分野でのデータ科学の用い方や研究がどのようなものかイメージできますか	質問5:	とてもイメージできる	ある程度イメージできる	わからない	あまりイメージできない	イメージできない
質問6: 自身の勉強や将来の進路を考えた場合、データ科学について関心がありますか	質問6:	とてもある	ある	分からない	あまりない	ない
質問7: 学部教育にデータ科学についての選択科目があった場合、履修を希望しますか	質問7:	強く希望する	希望する	分からない	あまり希望しない	希望しない
質問8: 学部教育にデータ科学科目が必修科目に含まれるのが良いと思いますか	質問8:	とてもそう思う	そう思う	分からない	あまり思わない	思わない
質問9: 3年あるいは4年生次に、大学院進学を前提としたデータ科学科目があれば、受講を希望しますか?	質問9:	強く希望する	希望する	分からない	あまり希望しない	希望しない
質問10: 「質問9」の科目が「選択科目(試験や評価による定員制)であった場合、受講を希望しますか?	質問10:	強く希望する	希望する	分からない	あまり希望しない	希望しない
質問11: 学部卒業後は、どのような進路を考えていますか?	質問11:	医療専門職	大学院(前期・修士)進学	その他		
質問12: 質問11で「その他」と回答された方、「その他」としてどのような進路を考えていますか	質問12:	ヘルスケア関係の企業	ヘルスケアと関係の少ない企業	官公庁	海外留学	その他
質問13: ご自身の進路を考えた場合、データ科学の知識や技術が必要になると感じますか	質問13:	とても思う	思う	分からない	あまり思わない	思わない
質問14: 今後、大学院では保健医療分野でのデータ科学教育が必要だと思いますか	質問14:	とても思う	思う	分からない	あまり思わない	思わない
質問15: 大学院でのデータ科学教育に関心がありますか	質問15:	とてもある	ある	分からない	あまりない	ない
質問16: 大学院に保健医療分野でのデータ科学分野があった場合、進学したいと思いますか	質問16:	とてもそう思う	そう思う	分からない	あまり思わない	思わない
質問17: 将来、保健医療分野におけるデータ科学に具体的に關わる仕事や研究に従事したいですか	質問17:	とてもそう思う	そう思う	分からない	あまり思わない	思わない
質問18: 大学院(前期・修士課程)への進学を考えてる場合、修了後にどのような進路を考えていますか	質問18:	医療専門職	大学院(後期・博士)進学	教育・研究職	その他	
質問19: 質問18で「その他」と回答された方、「その他」としてどのような進路を考えていますか	質問19:	ヘルスケア関係の企業	ヘルスケアと関係の少ない企業	官公庁	海外留学	その他

大学院学生アンケート質問用紙

大学院生アンケート

2018年7月

アンケートの趣旨

近年の科学技術の進歩とともに、保健・医療分野へのデータ科学の利用が進みつつあります。データ科学は電算機の普及とともに主に工学分野の分野として発展してきましたが、現在では分野を問わず、その技術が利用されるようになってきています。データ科学に関する教育は、語学やその他の教養科目と並んで基礎的教育のひとつとして大学でも積極的に取り入れる方向が示されています。

医学系研究科(保健学)では、これまでの高度専門職教育や研究に加えて、各専攻の領域においてデータ科学の知識と技術をもった人材の育成や、保健・医療領域におけるデータ科学を取り入れた研究の推進を目指して、大学院に新しい教育課程をつくろうと検討が進められています。

このアンケートは、大学院生の皆さんに、保健医療分野におけるデータ科学、大学院でのデータ科学教育等についての現在の意識を調査するものです。

ここで言うデータ科学とは、大規模化したデータを収集して管理し、さらに統計学、数理科学に裏付けられた理論に基づいてコンピュータを用いて分析し、その結果から適切な判断を下す一連の手法を学ぶ学問です。すなわち、統計学、数理科学、情報学が融合した学問を意味します。

名古屋大学医学系研究科・保健学統括専攻長 寶珠山 稔

●調査結果は名古屋大学大学院医学系研究科および保健学科の将来の教育研究の検討のために用い、他の目的で利用することはありません

●別紙のマークシート用紙に記入・回答してください。

●マークシート用紙に名前や学生番号は記入しないでください。

●記入後、8月8日(水)までに 本館1階 学務事務室前 あるいは 別館1階ロビーの回収ボックスに入れてください。ご協力をお願いします。

以下の質問について、あなたのお考えをお答え下さい。		マークシートのマーク番号				
		①	②	③	④	⑤
質問1: あなたの専攻をお答えください	質問1:	大学院(看護)	大学院(放射)	大学院(検査)	大学院(理学)	大学院(作業)
質問2: 何年生ですか	質問2:	修士1年	修士2年			
質問3: 性別をお聞きます	質問3:	男性	女性	その他(無回答)		
質問4: これまで、大学の内外や領域を問わずデータ科学について具体的な勉強や学修体験の機会がありましたか	質問4:	よくあった	ある程度あった	分からない	ほとんどなかった	なかった
質問5: 保健医療分野でのデータ科学の用い方や研究がどのようなものかイメージできますか	質問5:	とてもイメージできる	ある程度イメージできる	わからない	あまりイメージできない	イメージできない
質問6: 自身の勉強や将来の進路を考えた場合、データ科学について関心がありますか	質問6:	とてもある	ある	分からない	あまりない	ない
質問7: 大学院教育にデータ科学についての選択科目があった場合、履修を希望しますか	質問7:	強く希望する	希望する	分からない	あまり希望しない	希望しない
質問8: 大学院教育にデータ科学科目が必修科目に含まれるのが良いと思いますか	質問8:	とてもそう思う	そう思う	分からない	あまり思わない	思わない
質問9: 大学院(前期・修士)修了後は、どのような進路を考えていますか?	質問9:	大学院(後期・博士課程)	医療専門職	教育・研究職	その他	
質問10: 質問9で「その他」と回答された方、「その他」としてどのような進路を考えていますか	質問10:	ヘルスケア関係の企業	ヘルスケアと関係の少ない企業	官公庁	海外留学	その他
質問11: ご自身の進路を考えた場合、データ科学の知識や技術が必要になると感じますか	質問11:	とても思う	思う	分からない	あまり思わない	思わない
質問12: 今後、大学院では保健・医療分野でのデータ科学教育が必要だと思いますか	質問12:	とてもある	ある	分からない	あまりない	ない
質問13: 大学院でのデータ科学教育に関心がありますか	質問13:	とてもそう思う	そう思う	分からない	あまり思わない	思わない
質問14: 大学院に保健医療分野でのデータ科学分野があった場合、進学したかと思えますか	質問14:	とてもそう思う	そう思う	分からない	あまり思わない	思わない
質問15: 将来、保健医療分野におけるデータ科学に具体的に関わる仕事や研究に従事したいですか	質問15:	とてもそう思う	そう思う	分からない	あまり思わない	思わない
質問16: 大学院(後期・博士課程)への進学を考える場合、後期課程修了後にどのような進路を考えていますか	質問16:	医療専門職	教育・研究職	ヘルスケア関係の企業	ヘルスケアと関係の少ない企業	その他
質問17: 質問16で「その他」と回答された方、「その他」としてどのような進路を考えていますか	質問17:	官公庁	海外留学	その他		

アンケート回答用紙（全てのアンケートに共通）

回答用紙の記入のしかた

ここに記入しません		
(記入例) 良い例 ● 悪い例 ○	ここに記入しません	① ② ③
1		① ② ③ ④ ⑤
2		① ② ③ ④ ⑤
3		① ② ③ ④ ⑤
4		① ② ③ ④ ⑤
5		① ② ③ ④ ⑤
6		① ② ③ ④ ⑤
7		① ② ③ ④ ⑤
8		① ② ③ ④ ⑤
9		① ② ③ ④ ⑤
10		① ② ③ ④ ⑤
11	ここに記入しません	① ② ③ ④ ⑤
12		① ② ③ ④ ⑤
13		① ② ③ ④ ⑤
14		① ② ③ ④ ⑤
15		① ② ③ ④ ⑤
16		① ② ③ ④ ⑤
17		① ② ③ ④ ⑤
18		① ② ③ ④ ⑤
19		① ② ③ ④ ⑤
20		① ② ③ ④ ⑤

↑
質問番号

↑
このマーク欄にマークしてください

医療関連機関及び企業アンケート趣意書

平成 30 年 10 月 吉日

調査へのご協力のお願い

名古屋大学大学院医学系研究科（保健学）

統括専攻長 寶珠山 稔

謹啓

皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

突然のお手紙を差し上げ、恐縮に存じます。現在、名古屋大学医学系研究科（保健学）では、従来の高度医療専門職（医師・薬剤師以外）の養成から、データ科学を取り入れた新しい大学院教育への変革を目指した教育課程を準備中でございます。本調査はその大学院教育の出口調査の一環として、卒後進路として可能性がある施設にご送付させて頂きました。以下に本調査の趣旨を申し述べさせていただきますので、別紙へのご回答につきまして、何卒よろしくお願ひ申し上げます。尚、ご回答は該当部署の責任者の方にお願ひできましたら幸いです。

本邦に限らず、世界的流れとしまして、近年の科学技術の進歩とともに、保健・医療分野へのデータ科学の利活用が進みつつあります。データ科学は電算機の普及とともに主に工学分野の分野として発展してきましたが、現在では分野を問わず、その技術が利用されるようになってきています。データ科学に関する教育は、語学やその他の教養科目と並んで基礎的教育の一つとして大学でも積極的に取り入れる方向が示されています。このような流れを保健医療分野に取り入れるため、本学医学系研究科（保健学）では、これまでの高度医療専門職教育や研究に加え、各専攻領域においてデータ科学の知識と技術をもった人材の育成や、保健・医療領域におけるデータ科学を取り入れた研究推進を目指して、大学院に新しい教育課程をつくることを計画しました。

ここで言うデータ科学とは、大規模化した医療データを収集して管理し、さらに統計学、数理科学に裏付けられた理論に基づいてコンピュータを用いて分析し、その結果から適切な判断を下す一連の手法を学ぶ学問です。すなわち、統計学、数理科学、情報学が融合した学問を意味します。

以上のような保健・医療分野におけるデータ科学の活用およびデータ科学を修めた人材の採用などにつきまして、貴施設のお考えをご回答頂けましたら幸いに存じます。

尚、ご返信は 10 月 19 日（金）までにお願ひ申し上げます。

何卒、ご協力のほどをよろしくお願ひ申し上げます。

謹白